

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 内視鏡治療後のリンパ節転移高リスク pT1 大腸癌に対する追加切除と経過観察の長期予後と個別化治療方針の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 消化器内科 職位・氏名 助教・日原 大輔

【情報の利用目的】

当院で、内視鏡を用いて大腸のポリープや早期の大腸がんを切り取る治療（内視鏡的粘膜切除術（EMR）／内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD））を受けた方のうち、リンパ節への転移の危険性が高いと判断された患者さんの診療記録を見直します。そして、追加の手術をした場合と手術をせずに定期的な検査で経過をみた場合とで、再発や生存などの長期的な結果を比較します。また、年齢や持病（併存疾患）、がんの性質などを総合的に検討し、患者さん一人ひとりにとってより安全で適切な治療法を選ぶための目安となる基準を明らかにすることを目的としています。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる情報】

内視鏡治療前の内視鏡所見、病理組織診断、内視鏡治療後の経過等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【情報の利用または提供を開始する予定日】

2026年1月より利用を開始します。

【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大橋病院 病院長 渡邊 学

【情報の取得方法】

対象者：2012年1月～2025年1月までに東邦大学医療センター大橋病院において、大腸癌の内視鏡治療を受けた方

方法：診療録（カルテ）から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者：日原 大輔 役職：助教

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者: 日原大輔
共同研究者: 岡本陽祐
共同研究者: 榎本俊行
共同研究者: 齊田芳久

【情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 日原 大輔

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026 年 3 月 31 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は利用しません。また、認知機能低下者、亡くなっている方の代諾者からの申し出もお受け致します。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科

職位・氏名 助教・日原大輔

電話 03-3468-1251 内線 7280